

令和元年第4回市議会定例会 一般質問通告概要一覧

日 時	人 数
令和元年12月12日（木）午前10時～	6人（1番から6番まで）
令和元年12月13日（金）午前10時～	5人（7番から11番まで）

質問 順位	議 席 番 号	会 派 名	通 告 者 氏 名	抽 選 番 号	種 別
1番	7	無 所 属 の 会	江 口 正 夫	1	一問一答
2番	11	公 明 党	阿 部 正 幸	2	一問一答
3番	9	日 本 共 産 党	戸 津 川 晴 美	4	一問一答
4番	12	公 明 党	齋 藤 裕 子	7	一問一答
5番	14	無 所 属 の 会	雨 森 修 一	8	総括質問
6番	16	市 民 ク ラ ブ	昌 浦 泰 巳	9	一問一答
7番	10	自 由 民 主 党	吉 田 瑞 生	10	一問一答
8番	1	日 本 共 産 党	遠 藤 秋 雄	11	一問一答
9番	8	日 本 共 産 党	佐 藤 恵 子	13	総括質問
10番	4	自 由 民 主 党	鈴 木 新 津 男	14	総括質問
11番	2	日 本 共 産 党	中 田 定 行	16	一問一答

計 11 名

総括質問方式： 3 名
一問一答方式： 8 名

質問順	受付月日	12.3	通告者	7番	江口正夫	
1番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 台風19号被害の課題と対応について</p> <p>去る10月12日～13日にかけての台風19号では、本市においても、大雨による内水氾濫が各地域で発生し、大きな被害をもたらしました。本市は計画的に雨水対策を推進しているものの、想定以上の降雨量により、雨水対策の脆弱性が露呈しました。そこで、台風19号の同様の被害規模が繰り返されることのないよう、その対応について、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 宮城県「砂押川水系河川整備計画」の見直しについて 整備スケジュール及び整備内容の見直し、水位計の設置を。</p> <p>(2) 八幡地区の内水氾濫の解消・軽減などについて 八幡小学校周辺の雨水対策の期待効果と今後の対応の考えは。</p> <p>(3) 被災者支援の独自支援策などについて 災害見舞金の拡充を。被災者住宅再建支援制度の見直しを。</p> <p>2. 学校教育の情報化について</p> <p>2020年度からの新学習指導要領で、情報活用能力の育成を「学習の基礎となる資質・能力」と位置付け、小学校ではプログラミング教育を必修化し、新たなプログラミング的思考を育成すること、中学校では技術・家庭科において、プログラミングに関する内容の充実などが実施されます。そこで、本市の小中学校教育の情報化に向けての準備状況などについて、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 情報化（ICT）教育の準備状況と今後の進め方について</p> <p>(2) 情報化教育の教員の養成と教材の整備について</p> <p>(3) 情報化教育の環境整備の財源確保について</p>						

質問順	受付月日	12.2	通告者	11番	阿部正幸
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別
<p>1. 官民協働事業の促進について</p> <p>熊本県玉名市では、「子育てハンドブック」を官民協働事業により、行政の財政負担を伴わずに作成しています。本市においても「子育て親育ちサポートブック はぐはぐ」は、官民協働事業により行政の財政負担を伴わずに作成しているものもありますが、全庁的に促進してはいかがでしょうか。</p> <p>例えば「子育てハンドブック」等の情報誌についても、行政の財政負担を伴わない官民協働事業により作成してはいかがでしょうか。</p> <p>2. ICT技術の活用について</p> <p>国の骨太の方針(経済財政運営と改革の基本方針2019)では、「令和新世代へ向けて、Society 5.0への挑戦」を掲げており、ICT技術の進展は、社会のあり方や行政サービスのあり方を大きく変えようとしています。</p> <p>本市においては、すでに行政サービスを支える様々な業務システムにより効率化が図られていると思いますが、全国の地方自治体では、RPAやAIの活用により、抜本的な業務改革に取り組む事例がみられます。</p> <p>本市においても、今後の人口減少社会に向けた業務効率化に対応するため、ICT活用に向けた取組みを行うべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、情報技術は、すでに市民生活のインフラとも言えるものとなっています。総務省では、観光、防災・減災、市民サービス向上、行政事務効率化に繋げるデジタル化の促進のため、公共施設における公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備を推進しています。</p> <p>本市においても、本庁舎及び文化センターに、公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備してはいかがでしょうか。</p>					

質問順	受付月日	12. 2	通告者	9番	戸津川 晴美	
3番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 教育現場の働き方について</p> <p>(1) 小・中学校職員の働き方の現状に対する教育長の所見並びに業務の削減・タイムカード等の導入の現状について伺います。</p> <p>(2) 職員の年次休暇の取得状況・夏休み中の勤務状況・病休者等と代替職員の配置状況等について伺います。</p> <p>(3) 子どもたちにとってより良い教育環境とするためには、教員の増員が必要だと思いますが、いかがですか。</p> <p>(4) 変形労働時間制の導入は、働き方の改善策となり得るのでしょうか。教育長の所見を伺います。</p> <p>2. 高齢者を買い物、通院難民にしないために</p> <p>(1) 免許返納者に対する優遇策の内容を具体的に示されたい。</p> <p>(2) バス利用が困難な地域に住む免許返納者に対する優遇策は、どう考えるのか伺いたい。</p> <p>(3) バス料金の半額化はいつから実施されるのか伺いたい。</p> <p>(4) 不安を抱えて運転する高齢者に対し、「高齢者安全運転支援策」として「安全運転サポート車」の購入補助や「後付け安全装置設置」への補助などの検討を求めますが、いかがですか。</p> <p>(5) 西部線バスダイヤにおける「市民プール前」停留所の時刻の改善を早急に行うべきと思いますが、いかがですか。</p>						

質問順	受付月日	12.3	通告者	12番	齋藤裕子	
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別	一問一答
<p>1. 保育施策の充実について</p> <p>(1) 保育所入所手続きへのA I活用について</p> <p>保育所の入所手続きについては、保護者の要望にきめ細かく対応するなど、かなりの時間を要するが、A Iの導入により、入所手続きに係る時間の短縮と事務負担の軽減及び選考結果の迅速化などが期待され、A I導入への効果は大きいと考えます。本市のA I導入についての見解を伺います。</p> <p>(2) 保育士の人材確保と業務負担軽減策について</p> <p>本年10月施行の、幼児教育・保育の無償化に、保護者から喜びの声が上がる中、保育士の人材確保や業務負担の軽減など、保育環境の充実が求められている。本市の保育士人材確保と業務負担軽減策について伺います。</p> <p>2. 防災・減災対策について</p> <p>(1) 乳幼児用液体ミルクの備蓄について</p> <p>乳幼児用液体ミルクは災害時や、緊急時にお湯で溶かす、温めるといった、調乳作業が不要で、そのまま、与えることができます。既に、近年の災害時に避難所で活用され、必要効果が表れており、災害備蓄用として導入する自治体も広がっていることから、本市でも、緊急時に備え、液体ミルクの導入をすべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 土のうステーションの増設について</p> <p>近年、ゲリラ豪雨など、短時間での局地的な大雨や、台風など自然災害による浸水被害が発生しています。本市でも浸水被害の軽減を図るため、土のうステーションを設置されていますが、今回の台風19号の被害状況から、設置場所の増設や周知が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>3. 高齢者の交通安全対策について</p> <p>高齢者ドライバーによる交通事故が相次ぐ中、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる死亡事故が多発しています。その対策から、自主返納をする高齢者も少なくありません。また一方では、マイカーが日常生活に欠かせない高齢者も依然として多い現状となっています。そこで、高齢者への事故防止対策は重要と考えることから、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 免許証返納に向けた対応として、返納者へ、1年間のバス無料乗車証の早期発行を求めますがいかがですか。</p>						

(2) 高齢者の事故防止対策として、事故を抑止する後付け安全運転支援装置の普及啓発と、購入への補助制度の創設をすべきと考えますが、本市の見解を伺います。

質問順	受付月日	12. 3	通告者	14番	雨 森 修 一
5番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 総 括
<p>1. 雨水流出抑制設置助成金事業について</p> <p>「水害のないまちづくりを」市民の皆さんに水害被害を軽減するための策として、家庭敷地内に「雨水貯留タンク」や「雨水浸透ます」を設置することにより、集中豪雨により浸水被害を最小限にするための雨水流出抑制施設設置助成金事業があります。</p> <p>集中豪雨により多賀城市内の各地で浸水被害が多発しております。</p> <p>助成金の見直し等事業の促進をより一層図る事が不可欠と考えるが、市長のお考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	12. 3	通告者	16番	昌 浦 泰 己
6番	答 弁 者	市 長	発言時間	30分	種 別 一問一答
<p>1. 地域経済分析システムの活用について</p> <p>(1) 地域経済分析システム（RESAS）を市は活用していますか。</p> <p>(2) 各地域が自らの強み・弱みや課題を分析し、その解決策を検討することを後押しし、地方公共団体等におけるデータに基づく施策立案をさらに促進することを目的として、地域経済分析システムは有ります。</p> <p>今後、市では積極的に活用していきますか</p> <p>2. 危機管理監の任命と市防災部設置について</p> <p>台風19号で本市の防災のさらなる強化を実感しました。本市に危機管理監の任命と市防災部の設置が必要と思います。市長のお考えを伺います。</p>					

質問順	受付月日	12. 2	通告者	10番	吉田 瑞生
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 台風19号(10月12日～13日)豪雨被害状況の検証と、砂押川遊水地事業の建設を促進することなど、総合的な雨水対策事業を取り組むことについて</p> <p>(1) 中断している砂押川遊水地および勿来川遊水地建設事業の再開を、宮城県に要望することについて</p> <p>(2) 七北田川、砂押川、勿来川の河川改修事業を、宮城県に要望することについて</p> <p>(3) 原野地川右岸堤防の嵩上げ築堤整備事業について</p> <p>(4) 南宮排水区の事業認可取得と整備事業の取り組みについて</p>					

質問順	受付月日	12. 3	通告者	1番	遠藤 秋雄
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 台風19号に対する災害被害の原因と対策について</p> <p>10月12日から13日にかけて台風19号の雨量は253ミリを記録し、市役所屋上の雨量計は12日21時から13日2時までの5時間で、167ミリを記録しています。今後も温暖化による大型台風の予測が出ています。市長の見解をお聞きします。</p> <p>(1) 台風19号の雨量は、33年前(1986年)の「8.5水害」に匹敵する観測結果が出ていますが、被害状況に大きな変化(違い)がありました。現時点で考えられている原因と対策はどんな状況でしょうか。避難道路である清水沢多賀城線の仙石線高架工事に伴う農業用水堀の改修もあることで、八幡地区の被害が大きくなっています。全市の減災に向けた抜本的対策をどのように考えているのでしょうか。</p> <p>(2) 近年、時間雨量50ミリの強雨の発生件数が30年前の1.4倍に増加しています。2018年6月に作成した多賀城市防災マップは、「計画規模:50年～100年に1度」と「想定最大規模:1000年に1度」の降雨を対象とした洪水浸水想定区域を指定しています。しかし今回の19号は、計画規模の浸水区域に含まれていない八幡地区に大量の雨水が流れ(内水氾濫</p>					

とも言えるか)、床上床下浸水の被害が発生しています。防災マップの見直しも必要と思いますがいかがでしょうか。

2. 訪問介護の充実について

第5次総合計画「地域福祉を推進」の重点政策と第6次総合計画作成にあたり、本市の介護政策充実に関して、市長の見解をお聞きします。

質問順	受付月日	12. 3	通告者	8番	佐藤 恵子
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 地域商業の活性化、支援事業について</p> <p>10月の消費税引き上げ、復興需要の縮小や人手不足などで、10月は東北、宮城では中小業者の倒産、廃業は過去最高規模で進行している。多賀城市でも倒産や廃業などによる空き店舗が目立ち、このままでは地域の商業は衰退してしまう。市長はそのことをしっかり認識し、多賀城市の地域商業の振興のために以下の対策を講じられたい。</p> <p>(1) 市商業機能集積機能補助金事業は来年度も継続することになっているが、対象地域を現状より拡大して実施してはいかがか。21年度以降については、補助対象区域や対象業種の拡大、対象経費の拡充など空き店舗活用事業を含めた新たな創業支援事業として立ち上げられたい。</p> <p>(2) 気仙沼市では震災からの復興・創生にむけた産業支援のため小売店や飲食店等のリフォーム費用へ補助をおこなっている。市内の被災事業者からも店舗リフォーム費用への助成を求める要望がでており、市としても店舗のリニューアル助成を検討すべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 年末年始の金融対策について</p> <p>年末年始の資金需要が高まる中で、市内の中小企業・業者の資金繰りのための相談窓口、体制の強化が必要と思うがどうか。また、借り換え対応なども含めた低利の緊急特別資金融資制度の設置など年末年始にむけた特別の金融対策を講じていくべきと思うがいかがか。</p>					

質問順	受付月日	12. 3	通告者	4番	鈴木 新津男
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 総括
<p>1. 区長制度廃止について</p> <p>11月25日開催の全員協議会で説明のあった区長制度廃止に伴う今後の住民自治振興策について以下の4点を伺います。</p> <p>(1) 約60年の歴史を有する区長制度を廃止することになる。この間の区長制度について市長はどのように総括しているのか、また今回の区長制度廃止という大きな制度改正について市長はどのように受け止め、どのような感想をお持ちなのか。</p> <p>(2) 今回の制度改正にあたり、約1年を費やし、区長と話し合いを行っており、その結果としての対応案が全員協議会で説明された。その対応内容について、区長や町内会役員の反応はいかがだったのか、十分な理解を得ることができたのか。</p> <p>(3) 今回の制度改正の対応方法について、市町村によっては、区長を有償ボランティアに位置付け、従来とほぼ同様の業務を担っていただきながら、謝金を支払う例があると聞きます。市ではこのような検討をしたのか。また、今回のような制度設計をしたのはなぜか。</p> <p>(4) 全員協議会では今後地域運営組織を目指す旨の説明があった。市では地域運営組織にどのような期待を持っているのか、またこの取り組みをどのようなスケジュールで取り組むのか。</p>					

質問順	受付月日	12. 3	通告者	2番	中田 定行
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	種別 一問一答
<p>1. 抜本的な治水対策の実施を。</p> <p>(1) 七北田川の河川整備について、維持管理程度の補修ではなく、本格的な河川整備を県に対して要求すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 砂押川の河川整備について、勿来川遊水地整備を一刻も早く実施するよう県に対して要求すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 安楽寺雨水幹線の整備について、一刻も早く事業認可を得て整備に着手すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 大雨時に浸水する区域にあり、避難ができない指定避難所は見直すべきと考えるがどうか。</p>					